

対象校No. 1060
注4

学校コード F147310111803
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
沖縄キリスト教学院大学

人文学部 観光文化学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人沖縄キリスト教学院
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画推進課
職名・氏名	キカクスイシンカチョウ マエダ ミナ 企画推進課長・真栄田 美奈
電話番号	098-946-4161 (内線: 163)
(夜間)	098-946-1231 (内線: 163)
e-mail	kikaku@oc.jc.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人文学部

＜観光文化学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人沖縄キリスト教学院

(2) 大 学 名

沖縄キリスト教学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒903-0207

沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イハ ミチコ) 伊波 美智子 (平成29年10月)		
学 長	(キム ヨンス) 金 永秀 (令和2年4月)		
学 部 長	(アラカキ マコト) 新垣 誠 (平成28年4月)		
学科長等	(ヒラノ ノリオ) 平野 典男 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 観光文化学科 学士 (観光文化学)	文学関係	4年	90人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	360人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	90 () []					
志願者数	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	68 () []					
受験者数	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	66 () []					
合格者数	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	66 () []					
B 入学者数	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	— () []	57 () []					
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		—		0.63					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」A0対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	57 [－] (－)	－ [－] (－)			
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)			
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)		－ [－] (－)	
4 年次									－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)		－ [－] (－)	－ [－] (－)
計															

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	57 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{57} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文学部 観光文化学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 基幹 科目	キリスト教概論	1前	2								1
	聖書における人間	1後	2								1
	キリスト教平和学	2後	2			1					1
	小計(3科目)	—	6	0	0	1	0	0	0	0	1
共通 科目	キリスト教芸術	2・3・4後	2								2
	体育一般	2・3前	2								1
	健康運動ヨガ	2・3・4前	1								1
	健康運動バスケノバレー	2・3・4前	1								1
	琉球舞踊・音楽	2・3・4後	1								2
	空手	2・3・4後	1								1
	クリティカル・シンキング基礎	1後	2								1
	コトバと論理	2前	2								1
	言葉と思考	2後	2								1
	コンピュータ基礎演習	1前	2								2
	コンピュータ応用演習	1前	2								2
	メディア・リテラシー	1後	2								1
	データサイエンス入門	1後	2								1
	数学入門	2後	2								1
	国際平和学	1・2前	2								1
	はじめてのジェンダー論	1・2前	2								1
	SDGs概論	1・2前	2								1
	異文化理解	2・3前	2								1
	人間学	1後	2								1
	はじめての手話	1後	2								1
	日本国憲法	1・2後	2								1
	琉球史入門	1・2後	2			1					
	教養教育としての経済知識	1・2後	2								1
	教養教育としての経営知識	1・2後	2								1
	PCスキルとビジネス・マナー	2前	2								1
	心理学	2・3後	2								1
	中国語Ⅰ	1・2前	2			1					1
	中国語Ⅱ	1・2後	2			1					1
	韓国語Ⅰ	1・2前	2					1			1
	韓国語Ⅱ	1・2後	2					1			1
	スペイン語Ⅰ	2前	2								1
	スペイン語Ⅱ	2後	2								1
	小計(32科目)	—	0	60	0	0	2	1	0	0	21
学科 総合 科目	フレッシュマン・セミナーⅠ	1前	2			2			1		
	フレッシュマン・セミナーⅡ	1後	2			1	2				
	基礎セミナーⅠ	2前	2			1	1	1			
	基礎セミナーⅡ	2後	2			2	5	1	1		
	卒業基礎研究Ⅰ	3前	2			2	5	1	1		
	卒業基礎研究Ⅱ	3後	2			2	5	1	1		
	卒業研究Ⅰ	4前	2			2	5	1	1		
	卒業研究Ⅱ	4後	2			2	5	1	1		
	小計(8科目)	—	16	0	0	2	5	1	1	0	0
学科 専門 基礎 科目	Oral FluencyⅠ	1前	2			1					
	Oral FluencyⅡ	1前・後	2								1
	Communication in BusinessⅠ	1前・1後・2前	2			1					1
	Communication in BusinessⅡ	1後・2前・2後	2			1					1
	Communication in BusinessⅢ	2前・後	2			1					1
	Communication in BusinessⅣ	2後	2								1
	Intensive EnglishⅠ	1前	2						1		
	Intensive EnglishⅡ	1前・後	2								1
	Business Reading and WritingⅠ	1前・1後・2前	2						1		1
	Business Reading and WritingⅡ	1後・2前・2後	2						1		1
	Business Reading and WritingⅢ	2前・後	2								1
	Business Reading and WritingⅣ	2後	2						1		
	TOEICⅠ	2前	2			1					

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 基幹 科目	キリスト教概論	1前	2			1					1
	聖書における人間	1後	2								1
	キリスト教平和学	2後	2			1					1
	小計(3科目)	—	6	0	0	1	0	0	0	0	1
共通 科目	キリスト教芸術	2・3・4後	2								2
	体育一般	2・3前	2								1
	健康運動ヨガ	2・3・4前	1								1
	健康運動バスケノバレー	2・3・4前	1								1
	琉球舞踊・音楽	2・3・4後	1								2
	空手	2・3・4後	1								1
	クリティカル・シンキング基礎	1後	2								1
	コトバと論理	2前	2								1
	言葉と思考	2後	2								1
	コンピュータ基礎演習	1前	2								2
	コンピュータ応用演習	1前	2								2
	メディア・リテラシー	1後	2								1
	データサイエンス入門	1後	2								1
	数学入門	2後	2								1
	国際平和学	1・2前	2								1
	はじめてのジェンダー論	1・2前	2								1
	SDGs概論	1・2前	2								1
	異文化理解	2・3前	2								1
	人間学	1後	2								1
	はじめての手話	1後	2								1
	日本国憲法	1・2後	2								1
	琉球史入門	1・2後	2				1				
	教養教育としての経済知識	1・2後	2								1
	教養教育としての経営知識	1・2後	2								1
	PCスキルとビジネス・マナー	2前	2								1
	心理学	2・3後	2								1
	中国語Ⅰ	1・2前	2				1				1
	中国語Ⅱ	1・2後	2				1				1
	韓国語Ⅰ	1・2前	2					1			1
	韓国語Ⅱ	1・2後	2					1			1
	スペイン語Ⅰ	2前	2								1
	スペイン語Ⅱ	2後	2								1
	小計(32科目)	—	0	60	0	0	2	1	0	0	21
学科 総合 科目	フレッシュマン・セミナーⅠ	1前	2					1	1		
	フレッシュマン・セミナーⅡ	1後	2			1	2				
	基礎セミナーⅠ	2前	2			1	1	1			
	基礎セミナーⅡ	2後	2			3	4	2			
	卒業基礎研究Ⅰ	3前	2			3	4	2			
	卒業基礎研究Ⅱ	3後	2			3	4	2			
	卒業研究Ⅰ	4前	2			3	4	2			
	卒業研究Ⅱ	4後	2			3	4	2			
	小計(8科目)	—	16	0	0	3	4	2	0	0	0
学科 専門 基礎 科目	Oral FluencyⅠ	1前	2			1					
	Oral FluencyⅡ	1前・後	2								1
	Communication in BusinessⅠ	1前・1後・2前	2			1					1
	Communication in BusinessⅡ	1後・2前・2後	2			1					1
	Communication in BusinessⅢ	2前・後	2			1					1
	Communication in BusinessⅣ	2後	2								1
	Intensive EnglishⅠ	1前	2						1		
	Intensive EnglishⅡ	1前・後	2								1
	Business Reading and WritingⅠ	1前・1後・2前	2						1		1
	Business Reading and WritingⅡ	1後・2前・2後	2						1		1
	Business Reading and WritingⅢ	2前・後	2								1
	Business Reading and WritingⅣ	2後	2						1		
	TOEICⅠ	2前	2			1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
観光文化科目	TOEIC II	2前・後		2							1
	TOEIC III	2後		2			1		1		
	中国語Ⅲ	2前		2			1				
	中国語Ⅳ	2後		2			1				
	韓国語Ⅲ	2前		2				1			
	韓国語Ⅳ	2後		2				1			1
	歴史学概論	1前	2				1				
	観光学概論	1前	2				1				
	多文化共生社会	1前		2							1
	SDGsと観光	1前		2			1				
	民俗学概論	1後	2				1				
	観光ビジネス入門	1後		2			1				
	経営学	1後		2			1				
	ホスピタリティと異文化理解	1後		2			1				
	文化資源保全入門	1後		2			1				
	統計分析入門	1後		2							1
	琉球・沖縄歴史文化概論	2前	2				1				
観光文化科目	日本歴史文化概論	2前		2			1				
	アジア文化概論	2前		2							1
	日本手話基礎	2前		2							1
	マーケティング論	2前		2			1				
	インバウンド概論	2前		2							1
	ツアーコンダクター論	2前		2			1				
	島嶼地域学概論	2前		2			1				
	小計(37科目)	-	8	66	0	2	5	1	1	0	11
語学科目	Presentation in English	3・4後		2							1
	Tourism English I	3・4前		2			1				
	Tourism English II	3・4後		2			1				
	Advanced Reading and Writing	3・4前		2							1
	Advanced TOEIC	3・4前		2			1				
	ホスピタリティ中国語	3前		2							1
	ホスピタリティ韓国語	3前		2							1
文化資源領域	自然環境論	2後		2							1
	英米文化論	2後		2							1
	中国文化論	2後		2			1				
	韓国文化論	2後		2				1			
	国際文化交流海外研修	2後	2			2	2	1	1		
	比較文化論	3前		2							1
	琉球・沖縄歴史文化特論Ⅰ	3前		2			1				
	文化観光資源・施設論	3前		2							1
	沖縄の移民研究	3前		2							1
	世界遺産論	3後		2			1				
	琉球・沖縄歴史文化特論Ⅱ	3後		2							2
	琉球諸語論	3後		2							1
	琉球と朝鮮の関係史	3後		2				1			
	琉球と中国の関係史	3後		2			1				
	カルチャーツーリズム	4前		2			1				
	巡礼ツーリズム	4前		2			1				
学科専門応用科目	インターンシップ	2前・後		2			1	1			
	航空事業概論	2休		2							1
	日本手話応用	2後		2							1
	フードツーリズム	2後		2			1				
	エアラインサービス論	2休		2							1
	キャリアデザイン	3前		2			1				
	観光情報サービス論	3前		2							1
	ブライダルサービス論	3前		2							1
	コンテンツツーリズム	3前		2			1				
	観光マーケティング	3後		2			1				
	ホテル経営論	3後		2			1				
	クルーズ産業論	3後		2			1				
	メディカルツーリズム	3後		2			1				
	スポーツツーリズム	4前		2			1				
	MICE論	4後		2							1

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
観光文化科目	TOEIC II	2前・後		2							1
	TOEIC III	2後		2				1			
	中国語Ⅲ	2前		2				1			
	中国語Ⅳ	2後		2				1			
	韓国語Ⅲ	2前		2				1			
	韓国語Ⅳ	2後		2				1			1
	歴史学概論	1前	2				1				
	観光学概論	1前	2				1				
	多文化共生社会	1前		2							1
	SDGsと観光	1前		2			1				
	民俗学概論	1後	2					1			
	観光ビジネス入門	1後		2			1				
	経営学	1後		2			1				
	ホスピタリティと異文化理解	1後		2				1			
	文化資源保全入門	1後		2				1			
	統計分析入門	1後		2							1
	琉球・沖縄歴史文化概論	2前	2					1			
観光文化科目	日本歴史文化概論	2前		2				1			
	アジア文化概論	2前		2							1
	日本手話基礎	2前		2							1
	マーケティング論	2前		2				1			
	インバウンド概論	2前		2							1
	ツアーコンダクター論	2前		2				1			
	島嶼地域学概論	2前		2				1			
	小計(37科目)	-	8	66	0	3	4	2	0	0	12
語学科目	Presentation in English	3・4後		2							1
	Tourism English I	3・4前		2			1				
	Tourism English II	3・4後		2			1				
	Advanced Reading and Writing	3・4前		2							1
	Advanced TOEIC	3・4前		2				1			
	ホスピタリティ中国語	3前		2							1
	ホスピタリティ韓国語	3前		2							1
文化資源領域	自然環境論	2後		2							1
	英米文化論	2後		2							1
	中国文化論	2後		2				1			
	韓国文化論	2後		2					1		
	国際文化交流海外研修	2後	2			2	2	2			
	比較文化論	3前		2							1
	琉球・沖縄歴史文化特論Ⅰ	3前		2				1			
	文化観光資源・施設論	3前		2							1
	沖縄の移民研究	3前		2							1
	世界遺産論	3後		2				1			
	琉球・沖縄歴史文化特論Ⅱ	3後		2							2
	琉球諸語論	3後		2							1
	琉球と朝鮮の関係史	3後		2					1		
	琉球と中国の関係史	3後		2				1			
	カルチャーツーリズム	4前		2				1			
	巡礼ツーリズム	4前		2				1			
学科専門応用科目	インターンシップ	2前・後		2			1	1			
	航空事業概論	2休		2							1
	日本手話応用	2後		2							1
	フードツーリズム	2後		2				1			
	エアラインサービス論	2休		2							1
	キャリアデザイン	3前		2				1			
	観光情報サービス論	3前		2							1
	ブライダルサービス論	3前		2							1
	コンテンツツーリズム	3前		2				1			
	観光マーケティング	3後		2				1			
	ホテル経営論	3後		2			1				
	クルーズ産業論	3後		2				1			
	メディカルツーリズム	3後		2				1			
	スポーツツーリズム	4前		2				1			
	MICE論	4後		2							1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
持続可能領域	地域ブランド論	2後		2			1				
	ユニバーサルデザイン論	2後		2							1
	エコツーリズム	3前		2			1				
	観光統計分析	3前		2							1
	島嶼地域観光振興事例研究	3後		2		1					
	観光サービス・イノベーション	3後		2							1
	地域景観デザイン論	4前		2							1
	運輸ビジネス論	4前		2		1					
	地域振興論	4後		2			1				
	観光産業危機管理論	4後		2		1					
	小計(48科目)	-	2	94	0	2	5	1	1	0	20
合計(128科目)		-	32	220	0	3	5	1	1	0	兼44
卒業要件及び履修方法											
大学基幹科目必修6単位、共通科目から選択20単位(ただし、「中国語Ⅰ・Ⅱ」または「韓国語Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを選択必修、コンピュータ基礎演習またはコンピュータ応用演習を選択必修)、学科総合科目必修16単位、学科専門基礎科目の語学科目から英語選択20単位及び「中国語Ⅲ・Ⅳ」または「韓国語Ⅲ・Ⅳ」のいずれかを選択必修4単位、観光文化科目から必修8単位、選択14単位、学科専門応用科目の語学科目から選択2単位、文化資源領域から必修2単位、選択14単位、ホスピタリティ領域から選択10単位、持続可能領域から選択8単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:20単位(学期))											

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
持続可能領域	地域ブランド論	2後		2			1				
	ユニバーサルデザイン論	2後		2							1
	エコツーリズム	3前		2			1				
	観光統計分析	3前		2							1
	島嶼地域観光振興事例研究	3後		2		1					
	観光サービス・イノベーション	3後		2							1
	地域景観デザイン論	4前		2							1
	運輸ビジネス論	4前		2		1					
	地域振興論	4後		2			1				
	観光産業危機管理論	4後		2		1					
	小計(48科目)	-	2	94	0	3	4	2	0	0	20
合計(128科目)		-	32	220	0	4	4	2	0	0	兼44
卒業要件及び履修方法											
大学基幹科目必修6単位、共通科目から選択20単位(ただし、「中国語Ⅰ・Ⅱ」または「韓国語Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを選択必修、コンピュータ基礎演習またはコンピュータ応用演習を選択必修)、学科総合科目必修16単位、学科専門基礎科目の語学科目から英語選択20単位及び「中国語Ⅲ・Ⅳ」または「韓国語Ⅲ・Ⅳ」のいずれかを選択必修4単位、観光文化科目から必修8単位、選択14単位、学科専門応用科目の語学科目から選択2単位、文化資源領域から必修2単位、選択14単位、ホスピタリティ領域から選択10単位、持続可能領域から選択8単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:20単位(学期))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

・ 担当者変更の理由により、「キリスト教概論」の専任教員等の配置を「教授-」から「教授1」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「フレッシュマン・セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授-」から「教授1」、「准教授2」から「准教授1」、また「講師-」から「講師1」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「基礎セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授5」から「准教授4」、また「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「卒業基礎研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授5」から「准教授4」、また「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「卒業基礎研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授5」から「准教授4」、また「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授5」から「准教授4」、また「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授5」から「准教授4」、また「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「学科総合科目」の専任教員等の配置「小計」を、「教授2」から「教授3」、「准教授5」から「准教授4」、また「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「Oral FluencyⅠ」の専任教員等の配置を「教授-」から「教授1」、「准教授1」から「准教授-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「Communication in BusinessⅠ」の専任教員等の配置を「教授-」から「教授1」、「准教授1」から「准教授-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「Communication in BusinessⅡ」の専任教員等の配置を「教授-」から「教授1」、「准教授1」から「准教授-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「Communication in BusinessⅢ」の専任教員等の配置を「教授-」から「教授1」、「准教授1」から「准教授-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「Intensive EnglishⅠ」の専任教員等の配置を「講師-」から「講師1」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「Business Reading and WritingⅠ」の専任教員等の配置を「講師-」から「講師1」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「Business Reading and WritingⅡ」の専任教員等の配置を「講師-」から「講師1」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「Business Reading and WritingⅣ」の専任教員等の配置を「講師-」から「講師1」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「TOEICⅠ」の専任教員等の配置を「教授-」から「教授1」、「准教授1」から「准教授-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「TOEICⅢ」の専任教員等の配置を「教授-」から「教授1」、「准教授1」から「准教授-」、また「講師-」から「講師1」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「学科専門基礎科目」の専任教員等の配置「小計」を、「教授2」から「教授3」、「准教授5」から「准教授4」、また「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。 ・ 「学科専門基礎科目」の「兼任・兼担」人数小計に錯誤があり、「小計11」から「小計12」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「Advanced TOEIC」の専任教員等の配置を「教授-」から「教授1」、「准教授1」から「准教授-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「国際文化交流海外研修」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教-」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、「学科専門応用科目」の専任教員等の配置「小計」を、「教授2」から「教授3」、「准教授5」から「准教授4」、また「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。 ・ 担当者の職位変更の理由により、専任教員等の配置「合計」を、「教授3」から「教授4」、「准教授5」から「准教授4」、また「講師1」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
16 科目	112 科目	0 科目	128 科目	16 科目 [0]	112 科目 [0]	0 科目 [0]	128 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{128} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	沖縄キリスト教短期大 学(必要面積2,000㎡) と共用 (収容定員:200人) ・校地(その他)㎡に 錯誤があったため (6)			
	校 舎 敷 地	0 ㎡	11,863.47 ㎡	0 ㎡	11,863.47 ㎡				
	運動場用地	0 ㎡	1,033.66 ㎡	0 ㎡	1,033.66 ㎡				
	小 計	0 ㎡	12,897.13 ㎡	0 ㎡	12,897.13 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	369.69 ㎡ -319.09 ㎡	0 ㎡	369.69 ㎡ -319.09 ㎡				
	合 計	0 ㎡	13,266.82 ㎡ -13,216.22 ㎡	0 ㎡	13,266.82 ㎡ -13,216.22 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	沖縄キリスト教短期大 学(必要面積2,350㎡) と共用(収容定員:200 人) ・校舎㎡に錯誤があっ たため(6)			
		821.89 ㎡ -881.57 ㎡ (821.89 ㎡) (-881.57 ㎡)	10,064.25 ㎡ -10,104.12 ㎡ (10,064.25 ㎡) (-10,104.12 ㎡)	1,126.10 ㎡ -1,066.42 ㎡ (1,126.10 ㎡) (-1,066.42 ㎡)	12,012.24 ㎡ -12,052.11 ㎡ (12,012.24 ㎡) (-12,052.11 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 ・併設する短期大学の 実験実習室数を含めて いたため(6)		
		22 室	10 室	0 室 -3 室	1 室 (補助職員 0人)	2 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		観光文化学科			10 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む 電子ジャーナル〔うち 外国書〕 2〔2〕種 ・購入予定の学術雑誌 が未刊のため(6)	
	観光文化学科	17,192〔6,248〕 (16,400〔6,000〕) (15,988〔5,988〕)	10〔3〕 (5〔3〕) (-8〔5〕)	2〔2〕 (3〔3〕) (-2〔2〕)	345 (342)	(0)	(0)		
	計	17,192〔6,248〕 (16,400〔6,000〕) (15,988〔5,988〕)	10〔3〕 (5〔3〕) (-8〔5〕)	2〔2〕 (3〔3〕) (-2〔2〕)	345 (342)	(0)	(0)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		1,271.06 ㎡		166		166,667			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		1,403.78 ㎡		該当なし					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科 図書費には電子ジャー ナル・データベースの整備費 (運用コスト含む)を含 む。 ・設備購入費(開設前 年度)は、既存PCや備 品を利用したため購入 無し(6)
		教員1人当り研究費等	200 千円	200 千円	図書購入費	926 -1,626 千	1,626 千円	1,626 千円	
		共 同 研 究 費 等	1,000 千円	1,000 千円	設備購入費	0 -4,581 千	4,581 千円	4,581 千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		975 千円	830 千円	830 千円	850 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金収入、手数料収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称										沖縄キリスト教学院大学		収容定員充足率0.7倍以下の学科数		1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考					
<u>人文学部</u> 英語コミュニケーション学科 <u>観光文化学科</u>	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度							
	4	180	3年次 15	750	-	0.95	-	-	平成16	-						
	4	90	3年次 15	390	学士 (英語コミュ ニケーション 学)	1.02	-	-	平成16	沖縄県中頭郡読里町字読長777番地						
大学全体	4	180	3年次 15	750	学士 (観光文化 学)	0.63	-	-	令和6	同上						

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
届 出 時 					

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 観光文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

ア) FD

沖縄キリスト教学院大学FD委員会規程に基づき、FD委員会を設置している。

【沖縄キリスト教学院大学FD委員会規程】

（目的）

第1条 この規程は、沖縄キリスト教学院大学学則第31条の4に基づき、教育研究活動を向上させるファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するFD委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営その他必要な事項について定める。

2 委員会は、建学の精神を踏まえた学部及び学科の教育目的並びに、目標とする教職員像及び人材育成方針に基づき、教育内容・教育方法の改善を図るためのFDを組織的かつ体系的に実施することを目的とする。

（組織）

第2条 委員会は、学長からの委嘱のもと、次の委員をもって組織する。

- (1) 人文学部長
- (2) 各学科長
- (3) 各学科から選出された教員各1名
- (4) 教学支援部長
- (5) 教務課長
- (6) その他学長が指名する者

（任期）

第3条 前条第1項第1号から第5号に掲げる委員の任期は、その職責の任期とする。

2 前条第1項第6号に掲げる委員の任期は、学長がその都度定める。

（委員長）

第4条 委員会に委員長を置き、人文学部長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長を務める。

3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名を受けた委員が代行するものとする。

（運営）

第5条 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。

2 委員会が必要と認める場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

（審議事項）

第6条 委員会は、次の事項について審議する。

- (1) 教育研究活動の改善に係る基本方針及び実施体制に関する事項
- (2) 教育研究活動の改善を図るための全学的な研修の計画・実施に関する事項
- (3) 各学科におけるFD活動の点検・評価に関する事項
- (4) FDに係るアセスメント調査の計画・実施及び結果分析に関する事項
- (5) 学生FDワークショップの計画・実施に関する事項
- (6) その他学長が特に審議する必要があると認める事項

（学科FD活動）

第7条 各学科は、第6条第1項第1号に掲げる基本方針等に基づき、各学科におけるFD活動の計画・実施・点検・改善等の自己点検活動を行う。

2 学科長は、学科FDの活動状況等について委員会に報告しなければならない。

(学生FDワークショップ)

第8条 教育改善に係る学生の意見を徴するため、学生FDワークショップ（以下「学生FD」という。）を開催することができる。

2 学生FDを開催する場合、各学科の在学生から学生教育改善委員を数名ずつ、学科長が推薦し、人文学部長が任命する。

3 前項に掲げる委員の任期は、当該年度末日までとする。

(報告)

第9条 委員長は、委員会の審議結果を教学マネジメント委員会に報告しなければならない。

(事務)

第10条 委員会に係る事務は、教務課が行う。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学運営協議会の議を経て学長が行う。

イ) SD

学校法人沖縄キリスト教学院職員研修規程に基づき、大学運営協議会において実施方針と計画を定め実施している。

【沖縄キリスト教学院大学及び沖縄キリスト教短期大学運営協議会規程】

(趣旨)

第1条 この規程は、沖縄キリスト教学院大学学則第11条及び沖縄キリスト教短期大学学則第31条の規定に基づき、大学運営協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営、その他必要な事項について定める。

(構成)

第2条 協議会は、学長、副学長、人文学部長、短期大学部長、宗教部長、教学支援部長、学生支援部長、図書館長、事務局長、研究科長、学科長をもって構成する。

2 学長は、将来構想等の企画立案を取りまとめるため、協議会のなかから企画担当委員を選任することができる。

3 学長が必要と認めたときは、協議会構成員以外の教職員を出席させ、意見を求めることができる。

(協議事項)

第3条 協議会は、次の事項について協議する。

(1) 学則及び関連諸規程の制定並びに改廃に関する事項

(2) 本学の組織、運営の基本方針に関する事項

(3) 全学的な中長期計画に関する事項

(4) 全学的なSDの実施方針・計画策定に関する事項

(5) その他大学の教育目標及び運営に関する重要な事項等、並びに学長が必要と認めた事項

(招集)

第4条 協議会は、学長が招集し、その議長となる。

2 学長に事故あるときは、学長があらかじめ指名した協議会構成員が、その職務を代行する。

(開催)

第5条 協議会は毎月1回定例会議を開催するものとする。ただし、学長が必要と認めたときは、臨時に開催することができる。

(事務)

第6条 協議会の事務は総務課が行う。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、協議会の議を経て理事会が行う。

【学校法人沖縄キリスト教学院職員研修規程】

(目的)

第1条 この規程は、沖縄キリスト教学院（以下「本学院」という。）の目標とする教職員像を育成するため、スタッフ・ディベロップメント（以下、「SD」という。）に関する実施方針及び人材育成方針に基づき、本学院の教育職員及び事務職員等（以下「職員」という。）の資質及び職務能力の向上増進を図り職務の遂行に必要な知識、技能等を習得させ、大学職員としての資質を高め総合的能力を開発すると共に、職員に対して研修の機会を与えることを目的とする。

(研修の種類)

第2条 職員の研修は、次の当該各号に掲げる内容を行うものとする。

(1) 新規に採用された職員を対象に初任者研修を行う。

(2) 大学の管理運営、学生対応及び教育研究の支援等を含む資質の向上を図るための研修、さらに各学科及び各課の知識の共有を図るための集合研修を行う。

(3) その他の研修として、学外の団体等が開催する研修会等。

(研修の方法)

第3条 前条第1号及び第2号に定める研修は、以下の方法により実施する。

(1) 学内職員による研修

(2) 学外講師による研修

2 前条第3号に定めるその他の研修は、各部署で参加及び参加者を検討し、事務局総務課へ計画書を提出するものとする。

3 前項の計画書とは、次年度予算概算要求書及び事業計画書のことである。

4 計画書は、次年度予算の範囲内で認められるものとする。

5 第2項の計画に含まれない研修等については、希望があるごとに事務局総務課へ申請すること。

6 前項で申請された研修等については、事務局総務課が当該年度の予算の範囲内で実施の可否について判断する。

(SDの計画)

第4条 事務局総務課は、全学的なSD研修に係る年間の実施計画を作成し、大学運営協議会へ提出する。

(研修の報告)

第5条 事務局総務課は、前条にある実施計画の実施状況について報告書を作成し、大学運営協議会へ提出する。

2 第2条第1項第3号の研修の参加者は、研修終了後速やかに研修資料と共に報告書を、所属長を経て事務局総務課へ提出すること。

- (所管)
第6条 この規程の所管は、事務局総務課とする。
(補則)
第7条 この規程に定めのないことは、その都度、大学運営協議会において審議するものとする。
(規程の改廃)
第8条 この規程の改廃は、大学運営協議会及び法人事務連絡会議の議を経て、理事長が行う。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

ア) FD

FD委員会は学長からの委嘱のもと、人文学部長、各学科長、各学科から選出された教員各1名、教学支援部長、教務課長を構成委員とする。

委員会はその時々の議題に応じて開催される。

構成委員のうち学院大学教員は4人であり、2024年度第1回FD委員会（4月開催）に教員4人（うち観光文化学科教員1人）参加している。

イ) SD

全学的なSDの実施方針・計画策定に関する事項を協議する大学運営協議会は、学長、副学長、人文学部長、短期大学部長、宗教部長、教学支援部長、学生支援部長、図書館長、事務局長、研究科長、学科長を構成員とする。

協議会は毎月1回定例会議を開催している。

構成員のうち学院大学教員は8人であり、2024年度第1回大学運営協議会（4月開催）に教員8人（うち観光文化学科教員3人）参加している。

c 委員会の審議事項等

ア) FD

FD委員会の審議事項

- (1) 教育研究活動の改善に係る基本方針及び実施体制に関する事項
- (2) 教育研究活動の改善を図るための全学的な研修の計画・実施に関する事項
- (3) 各学科における FD 活動の点検・評価に関する事項
- (4) FD に係るアセスメント調査の計画・実施及び結果分析に関する事項
- (5) 学生 FD ワークショップの計画・実施に関する事項
- (6) その他学長が特に審議する必要があると認める事項

イ) SD

大学運営協議会の協議事項

- (1) 学則及び関連諸規程の制定並びに改廃に関する事項
- (2) 本学の組織、運営の基本方針に関する事項
- (3) 全学的な中長期計画に関する事項
- (4) 全学的なSDの実施方針・計画策定に関する事項
- (5) その他大学の教育目標及び運営に関する重要な事項等、並びに学長が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・学科FD活動
- ・学科FDワークショップ
- ・相互授業参観（FD）
- ・新任教職員研修会（SD/FD）
- ・建学の精神と本校教育に関する勉強会及びワークショップ（SD）

b 実施方法

ア) FD

FD委員会、学科教員参加のFD活動、FDワークショップ

イ) SD

全学的なSD研修に係る年間計画を総務課が立案し、大学運営協議会において定め、SD研修を実施している。

多くの教職員が参加できるオンラインによる研修と、集合型の研修を併用している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・2024年2月27日 4月開設の観光文化学科 教員ワークショップ開催（学科教員9人参加）
〔内容：カリキュラム・ポリシー、カリキュラム・ツリー、カリキュラム・マップ、履修指導及び修学ポートフォリオの運用について〕
- ・2024年4月2日 SD/FD 新任職員研修（学科新任教員6人参加）
- ・2024年4月2日 SD 新任職員研修〔内容：建学の精神勉強会〕（学科新任教員6人参加）
- ・2024年4月10日 沖縄キリスト教学院大学 FD委員会 第1回開催（学科長出席）
- ・2024年4月11日 大学運営協議会 第1回開催（学科教員3人参加）
〔内容：2024年度SDに関する実施方針及び実施計画について〕
- ・2024年4月22日 学科FD 開催（学科教員10人全員参加）
〔内容：フレッシュマン・セミナーⅠ第3回における、学長による建学の精神及び自校教育に関する講話を聴講〕
- ・2024年4月25日 SD 建学の精神ワークショップ開催（学科教員8人参加）
- ・2024年4月29日 月3限 学科FD 相互授業参観（授業「フレッシュマン・セミナーⅠ」学科教員6人参観）
- ・2024年4月30日 火2限 学科FD 相互授業参観（授業「観光学概論」学科教員1人参観）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今学期のFD活動として「相互授業参観」の実施を学科会議にて決議し、4月に2回の授業参観を行い授業改善への取り組みを始めている。

また、学院大学のアセスメント実施スケジュールに則り授業改善アンケートを実施し、アンケート結果をFD委員会へ報告し、学科FDワークショップ等において結果分析をもとに検討し具体的な授業改善に向け取り組む予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業改善アンケートを前期1回、後期1回、全授業を対象に実施予定

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業改善アンケートの結果を集計・分析した報告書はFD委員会へ報告し、ホームページに掲載する予定である。

また、授業ごとのアンケート結果については、担当教員へフィードバックし教員からのコメントを記載した上で、学内ポータルサイトにおいて学生に公開する予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

観光文化学科の教育研究上の目的は、『「光を観る」という観光の学びとして、歴史・文化の本質を理解したうえで、文化資源及び観光資源の光の価値を認識し、国内外へ発信できる人材、さらに、他地域との比較によりそれらに対する新たな価値を創出し、文化振興及び観光振興に貢献できる人材を育成する。また、実践的な教育の取り組み強化により、大学の教育・研究と地域社会の実態との乖離を無くし、観光産業発展に寄与できる優れた人材を育成する。』としている。

学生募集活動では、文部科学省の設置可公示（2024年8月30日）を受け、ただちに情報公開を行うとともに、翌9月1日より願書受付を開始したが、認知度不足もあり定員を下回る57人が入学することとなった。次年度以降もオープンキャンパスや高校訪問の実施、学外ガイダンスへの参加など積極的な学生募集活動を行い、安定した学科運営を目指していく。

本学科は、本年5月1日現在の専任教員10名中6名が新規採用である。沖縄キリスト教学院大学の建学の精神、本学科の三つのポリシー等について十分な理解のもと、設置計画に基づき、教育課程の編成及び考え方に沿って授業を運営していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年3月31日 公表予定 （令和6年度評価機関に提出する評価報告書を公表する。）

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和6年度に評価機関（日本高等教育評価機構）にて受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。